

「電力自由化」アンケートの質問と答え

アンケートのご協力ありがとうございました。結果の集計ができました。追究にとっても役立ちました。また、ご協力いただく場合があればよろしく申し上げます。これは、皆さんから頂いた質問の回答です。

○電力自由化の目的は？

主に3つあります。

- 1 安定供給の確保
- 2 電気料金の最大抑制
- 3 電気利用の選択肢と企業の事業機会の拡大

の3つです。今回の電力自由化では、ガスの自由化も行っています。

これらは、『エネルギーシステム改革』というものの一環です。

↓詳しくはこちらを見てください。

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/energy_system_reform/

○環境にいいことはあるのか？

電力自由化により、新電力に変更できるようになったため、再生可能エネルギーの電気をなるべく利用することのできるプランなどがあります。

○電力自由化でどれくらいの家庭が新電力を利用しているのか？

附中保護者アンケート調べによると、回答者 277 名中、53 名、約 19%の家庭が新電力を利用しています。

○発電と送電の分離はどうなっているのか？

発電、送電、売電が自由化してから、この3つは切り離されました。例えば、中部電力では、中部電力(持株会社)、中部電力パワーグリッド(送電)、中部電力ミライズ(売電)に分社しています。

○新電力を選んだ場合にトラブルなどに対応できるのか？

トラブルの種類にもよりますが、身近な停電などによる、中部電力と新電力との対応の差はありません。同じ配電設備を使っているからです。

○新電力は中電から電気を買っているのか？

中部電力から買っている新電力会社もあれば、自社で発電する、または中部電力以外の会社から買っているところもあります。中部電力は現在、中部電力(持株会社)、中部電力パワーグリッド(送電)、中部電力ミライズ(売電)に分かれているので、中部電力ミライズに電気を売っているのも、中部電力です。

○新電力に変更したときのメリットデメリットを知りたい

メリットは、電気料金が安くなる可能性があること

デメリットは、解約時に違約金が発生する可能性がある、自分でプランやサービス内容を見極める必要があること

しかし、電気の品質は変わりません。

○もしも新電力が倒産したら救済措置はあるのか？

今のところ、明確な救済措置はありません。しかし、新電力が倒産しても、電気は止まりません。電力会社が見つかるまで、各地域の電力会社(東京電力や中部電力)から電気が供給される仕組みになっているからです。もし、電力会社が倒産してしまったら、なるべく早めに他社の電力会社を探し、電力会社を見直すことが大切です。

○今回自由化されたのは電気を「作る」「送る」「販売する」のどれ？

私達が追究をした、2016年の全面自由化では、「販売する」が自由化されました。それより前に、「作る」「送る」は自由化されており、ガスも自由化されています。

○再生可能エネルギーを今まで以上に普及させる取り組みはあるのか？

再生可能エネルギー発電促進賦課金や FIT 制度、政府の目標引き上げなどがありません。しかし、未だ大幅な促進への効果は出ていません。

○どれくらいの人が電力自由化を知っているのか？

附中保護者アンケート調べによると、回答者 268 名中、よく知っているが 111 名(約 41%)、聞いたことはあるがよくわからないが 159 名(約 59%)、はじめて聞いたが 8 名(約 3%)です。

○実際に変更した人の感想は？

安くなった家庭もあれば、高くなった家庭もあり、個人差があります。